

認知症等対策官民イノベーション実証基盤整備事業（心の健康）における  
令和5年度中間評価結果について

令和6年1月

国立研究開発法人日本医療研究開発機構  
シーズ開発・研究基盤事業部 拠点研究事業課

「認知症等対策官民イノベーション実証基盤整備事業（心の健康）」における令和5年度中間評価結果を公表します。

1. 中間評価の趣旨

中間評価は研究開発課題等について情勢の変化や研究開発の進捗状況等を把握し、これを基に適切な予算配分や研究開発課題の中断・中止を含めた研究開発計画の見直しの要否の確認等を行うことにより、研究開発運営の改善及び機構の支援体制の改善に資することを目的とします。認知症等対策官民イノベーション実証基盤整備事業（心の健康）では、本事業における中間評価の評価項目に沿って、課題評価委員会において、書面審査及びヒアリング審査による中間評価を実施しました。

2. 中間評価対象課題（2課題）

研究開発課題名：こころの健康の保持増進のための超個別化AIプロジェクト：完全要因ランダム化試験から living RCT プラットフォームに至る開発研究

研究開発代表者：古川 壽亮（京都大学・教授）

評価コメント：こころの健康の保持増進のためのアプリに関する研究開発が総合的に計画通りに進捗しており、成果物の具体性は高く、ポジティブな結果が期待される。社会実装への道程についてさらなる検討が必要である。

研究開発課題名：組織的介入による多角的な職場のメンタルヘルス対策の効果検証を目的とするクラスター無作為化比較試験

研究開発代表者：堤 明純（北里大学・教授）

評価コメント：職場のメンタルヘルス対策に向けた4種類の介入を開発した。社会的ニーズは大きく、産業保健の仕組みと呼応しているため、社会実装に向けて有用な知見が得られることが期待される。しかし、参加者のリクルートに課題があり、改善の必要がある。

### 3. 課題評価委員会

書面審査： 令和5年11月20日～11月29日

ヒアリング審査： 令和5年12月4日

### 4. 課題評価委員（◎：評価委員長）

池澤聡 国際医療福祉大学三田病院 准教授

折笠秀樹 情報・システム研究機構統計数理研究所 特任教授

後藤励 慶應義塾大学経営管理研究科 教授

◎神庭重信 九州大学 名誉教授

津下一代 女子栄養大学 特任教授

長峯正典 防衛医科大学校防衛医学研究センター 教授

東敏昭 西日本産業衛生会 特別顧問

樋之津史郎 札幌医科大学医学部 教授

藤森麻衣子 国立がん研究センターがん対策研究所 室長

水野雅文 東京都立松沢病院 院長

(敬称略)

### 5. 評価項目

①研究開発進捗状況

②研究開発成果

③実施体制

④今後の見通し

⑤事業で定める項目及び総合的に勘案すべき項目

⑥総合評価

以上